別添資料10

公表:　2024 年 2 月 24 日　　事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス あずき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を遵守したスペースを確保しています。学習活動が行えるように区切りを作ったり、パーテーションを用いることがあります。	運動療育を積極的に取り入れていくためのスペースの分割を考えています。
	2	職員の配置数は適切である	○		専属のドライバー―を雇い、送迎時でもスタッフが充実するように行っています。	現状適切に配置されており、人員増員のための求人も行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		入口、トイレも車いすでも利用可能なようにバリアフリー化されています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日サービス時間前後に必ずミーティングを行い、目標設定、振り返りを行っております。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今年度開所の為、今回より評価を実施しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		今年度開所の為、今回より評価を実施しています。	ホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		第3者にによるコンサルを受け、業務改善のための研修を月に数回行っています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		第3者にによるコンサルを受け、業務改善のための研修を月に数回行っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		お子様の様子や発達状況、保護者様からの聞き取りをもとに、支援計画の作成をお紺合っております。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所で作成しているアセスメントシートを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		土・祝日のイベント会議を必ず毎月行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節に合ったイベントや、外出活動などを取り入れています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○	休日、長期休暇には時間を使ってできるイベントや製作課題を主に行っています。平日には個別の学習課題をメインに設定しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		個人に合わせた学習課題やクッキングや外出イベント等で個別・集団活動を行っています。	今後は理学療法士を中心として、個別の運動療育を積極的に取り入れていくように進めています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		開始前にミーティングを必ず行い、支援内容、注意事項、役割分担の確認を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了後にも1日の振り返り、翌日の予定確認等を行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳の控えを保管し、すぐに見直せるようにしています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		児童発達支援管理責任者を中心に行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			基本活動を組み合わせた支援を実施しています。今後は運動療育を多く取り入れていきたいと検討しています。地域交流の機会は今のところないため、今後実施できるように努めていきます。

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		今後理学療法士等の医療従事者の参加を検討しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		学校の年間計画を基に行事・下校時刻などの確認を行っております。送迎時に教員等と利用者の情報共有を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当する利用者は現状いません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている				該当する利用者は現状いません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	該当する利用者は現状いない為実施しておりません。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		今後研修の機会があれば積極的な参加を試みたいです。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		近くに該当施設がなく、交流は行っていませんが、保護者交流会を実施した際には障がいのない兄弟との交流の場を設けています。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○		今後協議会等の実施がある際には積極的に参加を試みたいと考えています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の連絡帳や、送迎時に状況を伝えることでコミュニケーションを図っており、共通理解を得られるように努めています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	日々の療育内の様子や変化をお伝えしたり、家庭内の様子の聞き取りを行っています。	専門的にペアレントトレーニングを学んでいるスタッフを配置していない為、現在は行えていない。必要に応じて今後検討していくよう努めます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に個別で説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		日々の連絡帳や、送迎時にお聞きした悩みに対してスタッフ間で共有し、速やかに助言等を行えるようにしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会を開催し、交流の場を設けています。	今後もさらに場を増やそうと計画しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や苦情があった場合、電話や面談にて迅速に対応するように努めています。またその内容の記録も行っております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月のおたよりと行事予定表を配布しています。また、ブログやSNSへの投稿も定期的に行っております。	
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付きの倉庫に個人情報関連書類を閉まっています。また、取り扱いについての説明を十分に行い、必要な場合は同意書を得てホームページ等に写真の掲載などを行っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個々に応じたわかりやすい言葉での説明や視覚をもちいた介入を行っております。また、発音練習や視覚のトレーニングも行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在地域住民を招待する行事は行っていません。必要に応じて今後検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを作成しており、月に1度研修を行うようにしています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練を3月中旬に実施予定です。年2回実施を予定しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		事業所内で虐待防止マニュアルを作成し、定期的に研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		事業所内で身体拘束に関するマニュアルを作成し定期的に研修を行っています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に状況確認を行い、適切に対応しています。特におやつの提供やクッキングなどの際には注意確認しながら行っています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		作成し、すぐに見直せる形にして共有しています。また、再発防止策も協議しています。	